

(様式6)

令和7年度 「総合的な探究の時間」指導計画書

学校番号	27	学校名	坂城	高等学校	名称	坂城学 I				
学年	1	学科	普通	科	生徒数	80	人	時間数	35	時間
目標 (育成する資質・能力)		【大目標】 自らライフキャリアをデザインし地域社会に主体的に関わり貢献できる人材の育成を目指す。 【教科目標】 (1) 知らない言葉や事柄に対して、意味を調べ、理解することができる。また、授業で学習したことを理解し、探究の活動において、その知識・技能を活用することができる。【知識・技能】 (2) 自分の将来を想像し、それに向けて必要な行動を定め、実行できる。解決すべき課題を発見し、解決に向けて困難を乗り越えることができる。ICTを活用し、自分の意見を他者に伝わるように表現することができる。【思考力・判断力・表現力】 (3) 自己理解に基づいて、自らの行動を律することができる。その上で、自分と他者との違いを理解し、グループ活動において中心となる役割を担うことができる。【主体性・協働性・多様性】								
		【内 容】 (探究する課題について明確にすること)								
		(1)地域の方々や年齢の異なる人たちとの関わりや、SST演習を通して自己理解と他者理解を行う。 (2)SSTや自己理解に基づき、集団の中でのどのように活動すべきかを考えて行動し、丁寧な振り返りを行うことで集団活動における協働性・主体性の向上をはかる。 (3)坂城町の企業学習会において、学習会前の情報収集を行い、学習会後の情報整理を小集団により発表する。また、学習会等から学んだことに対して浮かんだ興味関心や疑問をさらに調べていく。								
学期	時間	月	日	曜日	時 限 時間帯	内 容			指導方法	
						単元	各回の学習内容			
1	1	4	10	木	5	STEP1 自己理解	坂城学オーリエンテーション・ループリック		講義・ワークショップ	
	2				6		SST演習:協同する		講義・ワークショップ	
	3	4	24	木	5		体験学習について		講義	
	4	5	8	木	5	STEP2 体験学習	フィールドワーク「地域を知る」(バラ園)		校外研修	
	5				6		フィールドワーク「地域を知る」(バラ園)		校外研修	
	6	5	16	金	1		フィールドワーク「地域を知る」(保育園)		校外研修	
	7	5	22	木	5		フィールドワーク振り返り・スライド作成		個人追究	
	8				6		フィールドワーク振り返り・スライド作成		個人追究	
	9	6	5	木	5		フィールドワークの準備		講義・グループワーク	
	10				6		フィールドワークの準備		グループワーク	
	11	6	19	木	5		フィールドワーク「地域を知る」(葛尾山)		校外研修	
	12				6		フィールドワーク「地域を知る」(葛尾山)		校外研修	
	13	7	17	木	5		フィールドワーク振り返り・スライド作成		個人追究	
	14				6		体験学習発表会		体験発表会(学年)参観	
2	15	8	28	木	5	STEP3 調査探究	地域の企業について知る		講義・ワークショップ	
	16				6		地域の企業について知る		講義・ワークショップ	
	17	9	11	木	5		グループに分かれて企業調べ		講義・グループワーク	
	18				6		グループに分かれて企業調べ		講義・グループワーク	
	19	10	2	木	5		企業への質問を考える		グループワーク	
	20				6		企業への質問を考える		グループワーク	
	21	10	16	木	5		インタビュー練習		グループワーク	
	22				6		企業学習会最終準備		グループワーク	
	23	10	24	金	1		坂城町企業学習会		グループワーク	
	24	11	20	木	5	STEP4 まとめ・発表	プレゼンテーション準備		グループワーク	
3	25				6		プレゼンテーション準備		グループワーク	
	26	12	4	木	5		プレゼンテーション準備		グループワーク	
	27				6		プレゼンテーション準備		グループワーク	
	28	12	18	木	5		プレゼンテーション		坂城学発表会(学年)参観	
	29				6		プレゼンテーション		坂城学発表会(学年)参観	
評価の観点・方法	30	1	15	木	5	STEP5 振り返り	プレゼンテーション振り返り		講義・グループワーク	
	31				6		個人成果物作成		個人追究	
	32	1	29	木	5		個人成果物作成・発表準備		個人追究	
	33				6		個人成果物作成・発表準備		個人追究	
	34	1	30	金	1		坂城学発表会(参観・発表)		坂城学発表会(全校)参観	
	35	2	12	木	5	STEP6 年間振り返り	探究を振り返る:Inspire High		個人追究	
	36				6		探究を振り返る:フィードバック・ループリック		講義	

(様式6)

令和7年度 「総合的な探究の時間」指導計画書

(様式6)

令和7年度 「総合的な探究の時間」指導計画書

学校番号	27	学校名	坂城	高等学校	名称	坂城学Ⅲ						
学年	3	学科	普通	科	生徒数	59	人	時間数	35	時間		
目標 (育成する資質・能力)		<p>【大目標】 自らライフキャリアをデザインし地域社会に主体的に関わり貢献できる人材の育成を目指す。</p> <p>【教科目標】</p> <p>(1) 知らない言葉や事柄に対して、意味を調べ、理解することができる。また、授業で学習したことを理解し、探究の活動において、その知識・技能を活用することができる。【知識・技能】</p> <p>(2) 自分の将来を想像し、それに向けて必要な行動を定め、実行できる。解決すべき課題を発見し、解決に向けて困難を乗り越えることができる。ICTを活用し、自分の意見を他者に伝わるように表現することができる。【思考力・判断力・表現力】</p> <p>(3) 自己理解に基づいて、自らの行動を律することができる。その上で、自分と他者との違いを理解し、グループ活動において中心となる役割を担うことができる。【主体性・協働性・多様性】</p>										
内容 (探究する課題について明確にすること)		<p>(1) 2年次のインターンシップ・オープンキャンパス軸とした進路学習及びそれをまとめる活動から学んだ自己理解を深めつつ、自らの進路に向けて自己課題と向き合い、それを解決する方法を探る過程を通して、進路実現に向けて知識や技能を身につけてゆく。</p> <p>(2) 進路活動において、自己理解に基づき、社会・集団の中でどのように活動すべきかを考えて行動する。進路実現に向けて丁寧な振り返りを行いながら、個別探究における主体性や集団活動における協働性・主体性を培ってゆく。</p>										
学 期	時 間	月	日	曜 日	時 限 時間帯	内 容	指導方法		備 考 (教材、場所等)			
						単元	各回の学習内容					
1	1	4	10	木	5	キャリアデザイン	進路講話(進路指導主任)	講義・ワークショップ	体育館			
	2				6		自己評価・目標設定(坂高版ループリック)	ワークショップ	教室			
	3	4	24	木	5		就職バーチャル・進学補習	ワークショップ	教室			
	4	5	8	木	5		一般常識テスト	講義	教室			
	5				6		一般常識テスト(自己採点等)	講義・ワークショップ	教室			
	6	5	22	木	5		さんぽう講座(履歴書など)	ワークショップ	教室(2か所)			
	7				6		さんぽう講座(履歴書など)	ワークショップ	教室(2か所)			
	8	6	5	木	5		面接試験練習	ワークショップ	教室			
	9				6		応募書類講座	講義・ワークショップ	教室			
	10	6	19	木	5		さんぽう講座(面接など)	ワークショップ	教室(2か所)			
	11				6		さんぽう講座(面接など)	ワークショップ	教室(2か所)			
	12	7	17	木	5		面接実践	ワークショップ	教室			
	13				6		面接実践	ワークショップ	教室			
2	14	8	28	木	5	卒業研究・制作	面接実践	ワークショップ	教室			
	15				6		面接実践	ワークショップ	教室			
	16	9	11	木	5		面接実践	ワークショップ	教室			
	17				6		面接実践	ワークショップ	教室			
	18	10	2	木	5		フィールドワーク・研究・制作	個別探究・フィールドワーク	フィールドワーク			
	19				6		フィールドワーク・研究・制作	個別探究・フィールドワーク	フィールドワーク			
	20	10	16	木	5		フィールドワーク・研究・制作	個別探究・フィールドワーク	フィールドワーク			
	21				6		フィールドワーク・研究・制作	個別探究・フィールドワーク	フィールドワーク			
	22	11	20	木	5		フィールドワーク・研究・制作	個別探究・フィールドワーク	フィールドワーク			
	23				6		フィールドワーク・研究・制作	個別探究・フィールドワーク	フィールドワーク			
	24	12	4	木	5		まとめ:レポートにまとめよう	グループワーク	教室			
	25				6		まとめ:レポートにまとめよう	グループワーク	教室			
	26	12	18	木	5		まとめ:発信しよう	グループワーク	教室			
	27				6		まとめ:発信しよう	グループワーク	教室			
3	28	1	15	木	5	卒業・新生活準備	高校生活まとめ:探究活動の振り返り	グループワーク	教室			
	29				6		高校生活まとめ:探究活動の振り返り	グループワーク	教室			
	30	1	29	木	5		探究総括	坂城学発表会準備	発表活動・行事運営	校外会場		
	31				6		坂城学発表会準備	発表活動・行事運営	校外会場			
	32	1	30	金	1		坂城学発表会	発表活動・行事運営	校外会場			
	33				2		坂城学発表会	発表活動・行事運営	校外会場			
	34	2	12	木	5	卒業・新生活準備	予餞会・卒業式に向けて(リモート会議の実践)	ワークショップ	自宅			
	35				6		予餞会・卒業式に向けて(リモート会議の実践)	ワークショップ	自宅			
評価の観点・方法					<p>＜評価の観点＞</p> <p>○レディネス(学習姿勢):A生活態度(自律性・公共性)、B基礎学力(知識・技能)</p> <p>○コミュニケーション:C自分を理解し認める力、D他者を理解し関わる力</p> <p>○コラボレーション:Eグループで協力する力、F表現・発信する力</p> <p>○キャリア:G知識を広げようとする力(学びに向かう力)、H解決しようとする力(探究力・回復力)、I将来を見通す力(キャリアデザイン)</p> <p>＜評価の方法＞</p> <p>○上記項目で作成された校内ループリックを年度内で2回実施し評価する</p> <p>○各活動の報告書やレポートなどの成果物、また発表活動等とそれらを集積したポートフォリオにより評価する</p>							